

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 占冠村教育委員会
2. 研究主題 : 〔調査研究Ⅱ〕小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
3. 研究タイトル : **占冠村大好き教育推進プロジェクト**
4. 研究課題 : (1) 小規模校のメリットを最大化させる方策
- ア. 少人数であることを最大限に生かした教育活動に関する研究
- イ. その他、創意工夫を生かして小規模校や複式学級設置校のメリットを最大化させる先進的な方策
- (2) 小規模校のデメリットを最小化させる方策
- ア. 学校間ネットワークの構築
- イ. 社会教育と密接に連携した学校教育活動
- エ. その他、創意工夫を生かして小規模校や複式学級設置校のデメリットを最小化させる先進的な方策
5. 事業の実績
- (1) 調査研究のねらい

「少子高齢化が全国に先駆けて進む占冠村において、子どもの育成は村の存続に係るとても重要な課題であるが、村内の小中学校は小規模化が進んでいる。これらの学校を存続させていくために重要な小規模校のデメリットの解消のため、学校と村内外を繋ぐネットワークを構築し、地域の大学やリゾート企業と連携したふろさと学習や外国語学習を行うことで、小規模校で不足しがちな多様な価値観に触れる機会を確保する。また、小規模校であることのメリットを生かし、教材教具を一人一人に行き渡らせた教育活動やショー&テル等、少人数でなければできない教育活動を充実させる。これらの取組を通じて、小規模校の課題を解決すると同時に、活動力、基礎学力、英語力など子供達の生きる力を育み、「占冠村大好き」と思える子どもの育成を推進する。」

そのため、次の具体的目標を立て、研究を進めていく。

(1) 小規模校のメリットを最大化させる方策

ア. 少人数であることを最大限に生かした教育活動に関する研究

① ショウ&テル ② 英語学習 ③ 個人カルテ

イ. その他、創意工夫を生かして小規模校や複式学級設置校のメリットを最大化させる先進的な方策

④ タブレット活用 ⑤ 学習環境整備

(2) 小規模校のデメリットを最小化させる方策

ア. 学校間ネットワークの構築

⑥ コミュニケーションシステムの活用 ⑦ 協力大学とのネットワーク構築

イ. 社会教育と密接に連携した学校教育活動

⑧ 地域教育力を最大限に活用した教育活動 ⑨ 村内リゾートの海外従業員の活用等

エ. その他、創意工夫を生かして小規模校や複式学級設置校のデメリットを最小化させる先進的な方策

⑩ 異年齢交流やアスペン市からの留学生との交流 ⑪ 学習サポートの充実

(2) 調査研究の実施状況（平成28年度）

■…事業全体に関わること ○…研究課題に関わること ◎…視察，講師等

4月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 占冠村大好き教育推進プロジェクトに関わる教育活動の継続的な取組と，平成28年度文科省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の取組の準備 ■ 義務教育学校，小中一貫校の調査研究開始
5月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 占冠村大好き教育推進プロジェクトに関わる教育活動の継続的な取組と，平成28年度文科省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の取組の準備 ■ 平成27年度文科省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」の取組の成果により，協力校のトمام小中学校と占冠中学校がコミュニティ・スクールへ移行し，村内全小中学校がコミュニティ・スクールとして指定
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ショウ&テル」を朝の活動に位置付けた（2人一組でスピーチをしたり，始業式や終業式での発表や学習発表会の発表をショウ&テルの成果を試す場として設定することとした）…① ○ 低学年や中学年は，日本語によるショウ&テルを実施しながら，簡単な英語表現もスキルとして取り入れる…① ○ 英語学習年間低学年20時間・中学年35時間・高学年41時間の開始…② ○ 小中一貫の英語の教育課程編成委員会を組織し，教育課程編成のねらいを決定…② ○ 個人カルテの具体的様式作成…③ ○ eライブラリーによる，児童個々に対応したきめ細かな指導の実施…④ ○ 協力大学の外国籍大学院生による「国際感覚を高めるプログラム」実施のための調査研究において占冠村（占冠中央小学校を拠点として）に一ヶ月間受入れ，国際感覚をどのように考えるかについて，村内各学校の教職員や関係機関職員に聞き取り調査を実施…⑧ ○ 外国籍のトمامリゾート従業員による国際理解教育やキャリア教育の実施…⑨ <p>■ トمام小中学校が，平成29年度からの義務教育学校への移行について検討開始</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ショウ&テル」の実施と記録により評価規準をもとに，個々の児童を評価し，指導を改善…① ○ 「ショウ&テル」の評価規準の見直しと改善…① ○ 小中一貫の英語の教育課程の編成作業開始…② ○ 個人カルテの記入…③ ○ eライブラリー活用成果の分析と改善…④ ○ 村内のトمام中学校と占冠中学校による，遠隔授業（炊事遠足事前学習）開始…⑥ ○ 協力大学との連携による「川の学校」の計画…⑧ ○ 協力大学の外国籍大学院生による「国際感覚を高めるプログラム」打合せ…⑧ ○ 地域ボランティアや地域おこし協力隊による長期休業中の学習サポート実施…⑪ <p>■ 第1回「占冠大好き教育推進会議」7月22日</p>
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ショウ&テル」の実施と記録…① ○ 小中一貫の英語の教育課程の編成作業…② ○ 個人カルテの記入…③ ○ eライブラリー活用成果の分析と改善…④ ○ 北海道科学大学と占冠中央小学校において，テレビ会議システム接続テスト実施…⑦ ○ 協力大学の外国籍大学院生による「国際感覚を高めるプログラム」児童アンケート・教職員アンケートを実施…⑧ <p>◎ ショウ&テル（東京学芸大学教職大学院准教授 岩瀬直樹氏），三鷹中央学園コミュニティ・スクール視察（東京都三鷹第七小学校 校長 吉村達之）・伝統文化授業打合せ（ドキュメンタリー映画監督 野田香織氏・戦略的ウェブ広報コンサルタント 林 冬彦氏）の打合せ （東京学芸大・三鷹第七小・四谷野田事務訪問 占冠中央小校長 森野憲仁）</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ショウ&テル」の実施と記録…① ○ 小中一貫の英語教育課程の編成作業…② ○ 個人カルテの記入…③ ○ パソコンの更新時期に係るタブレット導入計画策定開始…④ ○ タブレットを活用して，学習を教室以外に展開…⑤ ○ タブレットや学校間ネットワーク機器の整備により村内の学校との授業を計画…⑥ ○ 協力大学との連携による遠隔授業の計画…⑦ ○ 協力大学との連携による「川の学校」の実施…⑧ ○ 協力大学の外国籍大学院生による「国際感覚を高めるプログラム」第一回授業を，北海道大学と遠隔授業（北海道大学大学院の留学生4名と6年生5名によるテレビ会議システムを活用した授業）を実施…⑧ ○ 国立日高青少年の家通学合宿への児童（占冠中央小11名・トمام小3名）の参加…⑪

10月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ショウ&テル」の実施と記録…① ○小中一貫の英語の教育課程の編成作業…② ○個人カルテの記入…③ ○タブレット活用による視覚化を図った授業を展開…④ ○占冠中央小学校とトママ小学校によるテレビ会議システムを活用した授業（1年国語）を実施…⑥ ○「占冠神楽」伝承授業を2回実施…⑧ ○国際交流集会（アスペンからの留学生との交流）における英語での司会進行や自己紹介、英語劇を実施…⑩
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ショウ&テル」の実施と記録…① ○小中一貫の英語の教育課程の編成作業…② ○タブレット活用による視覚化を図った授業を展開…④ ○占冠中央小学校とトママ小学校によるテレビ会議システムを活用した授業（2年国語）を実施…⑥ ○北海道大学と協力学校の占冠中学校における遠隔授業実施に向けた打合せ開始…⑦ ○協力大学との連携による遠隔授業の実施…⑦ ○「占冠神楽」伝承授業を1回実施…⑧ <p>■村内のトママ小中学校が、平成29年度から義務教育学校へ移行することが決定 ■占冠中央小学校と占冠中学校が平成30年度から小中一貫校を目指すことが決定 ■村内3校による平成30年度からの占冠学園構想案策定</p> <p>◎北海道寿都町英語強化地域拠点事業に係る公開研究会出席 占冠中央小教諭 井上裕太 ◎英語教科科に向けた打合せ 札幌市（東京都三鷹第七小学校校長 吉村達之氏） 占冠中央小学校校長 森野憲仁</p> <p>◎土曜学習 ピアノ講師 佐藤 希氏 ◎土曜学習 アコーディオン・バグパイプ演奏講師 長嶺久美子氏</p>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ショウ&テル」の実施と記録により評価規準をもとに、個々の児童を評価し、指導を改善…① ○「ショウ&テル」の評価規準の見直しと改善…① ○小中一貫の英語の教育課程の編成終了…② ○個人カルテの記入…③ ○トママ中学校と占冠中学校が、テレビ会議システムを活用して合同の英語授業を実施…⑥ ○協力大学の外国籍大学院生による「国際感覚を高めるプログラム」第二回授業（北海道大学大学院の5名の留学生による授業）を占冠中央小学校とトママ小学校において実施…⑧ ○「伝統文化理解の教育」の授業と校内研修 12月8～10日 （講師 ドキュメンタリー映画監督 野田香里氏 監督助手 駒井裕一氏）を実施…⑧ ○外部有識者（北翔大学生涯スポーツ学部・健康福祉課教授 谷川松芳氏）を講師にした、「ふるさと学習」の授業参加と「占冠大好き教育推進」並びに「コミュニティ・スクール充実」のための校内研修を実施…⑧ ○「占冠神楽」伝承授業を1回実施…⑧ <p>◎第2回「占冠大好き教育推進会議」12月19日（外部有識者 北翔大学教授 谷川松芳氏出席） ◎土曜学習 アコーディオン・バグパイプ演奏講師 長嶺久美子氏</p>
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ショウ&テル」の実施と記録…① ○小中一貫の英語の教育課程印刷…② ○外部有識者（北海道教育大学札幌校英語教育学教授 萬谷隆一氏）を講師にした、英語研究授業と英語の校内研修を実施…② ○個人カルテの記入…③ ○タブレット活用による視覚化を図った授業を展開…④ ○「国際感覚を高めるプログラム」の授業の検証のため、北海道大学院生による占冠中央小学校の教職員対象の事後聞き取り調査を実施…⑧ ○占冠消防出初め式における「占冠神楽」において児童が協力出演…⑧ ○協力大学による長期休業中の学習サポート実施…⑩ <p>◎北海道中標津町立計根別学園（義務教育学校）視察 （占冠中央小学校教頭喜多康洋・占冠中学校教頭 大柄洋樹） ◎土曜学習講師 トママリゾート韓国籍従業員 朴 裕美 氏</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ショウ&テル」の実施と記録…① ○外部有識者（東京学芸大学教職大学院准教授 岩瀬直樹氏）を講師にした、ショウ&テルの授業研究とショウ&テル校内研修の実施…① ○小中一貫の英語の教育課程の配布…② ○個人カルテの記入…③ ○パソコンの更新により、タブレット導入による教育環境整備完了…④ ○鹿児島県徳之島町立母間小学校とのテレビ会議システムを活用した授業実施（3・4年理科・社会）を実施…⑥ ○外国籍のトママリゾート従業員による国際理解教育やキャリア教育の実施…⑨ <p>◎第3回「占冠大好き教育推進会議」2月23日（外部有識者 北翔大学教授 谷川松芳氏出席） ◎土曜学習 ピアノ講師 佐藤 希氏</p>

3月	<ul style="list-style-type: none"> ○「ショウ&テル」の実施と記録により評価規準をもとに、個々の児童を評価し、指導を改善…① ○ショウ&テルの評価規準の見直し・改善と次年度計画立案…① ○小中一貫の英語の教育課程の実施改善について、次年度計画立案…② ○個人カルテの記入と卒業生の個人カルテを中学校へ引き継ぎ…③ ○タブレット活用による視覚化を図った授業を展開…④ <p>◎トナム小中学校が、4月から義務教育学校「トナム学校」へと学校名称 ◎土曜学習講師 トナムリゾート韓国籍従業員 朴 裕美 氏</p>
----	--

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

課題(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ○ショウ&テルを6～3月の間全学年実施し、有識者からの指導を受け次年度への計画を立てた。…① ○ショウ&テル評価規準による評価をすることで、指導の改善を図りながらショウ&テルで身に付けた表現力を他の教育活動の場面で生かす場の設定を進めた。…① ○占冠中央小学校においては、英語を年間、低学年20時間、中学年35時間、高学年41時間実施した。また、朝の英語スキルの時間を週2回年間を通して実施し、児童の英語に対する興味関心を高めた。…② ○月2回の土曜学習を実施し、英語学習や卓球をはじめ海外からのリゾート従業員による国際理解教育に加え、平成28年度は、ピアノやアコーディオン、ギターに触れたり、バグパイプの演奏を聴く等の学習を実施したりした。…② ○個人カルテの掲載内容を検討し、ファイルを作成した。教科の定着度をはじめ社会教育への参加状況等も掲載し中学校への引き継ぎを実施した。…③
課題(1)イ	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット活用とeライブラリの児童一人一人のID設定により、児童一人一人が学習の振り返りが可能となり、児童一人一人へのきめ細かな指導が充実した。…④ ○図書室やホールでもインターネットが活用できる学習環境を整えた。特にホールの壁をスクリーンとして活用するなど、校内環境の活用が充実した。⑤
課題(2)ア	<ul style="list-style-type: none"> ○学校間ネットワーク機器の試験的運用により、ネットワーク機器の接続テストを実施し遠隔授業や学校間ネットワーク活用の授業が可能となった。…⑥ ○村内学校間のネットワーク機器を活用した授業が10回実施された。…⑥ ○トナム中学校と占冠中学校で合同の英語ネットワーク授業が実施された。…⑥ ○北海道大学大学院と占冠中央小学校間のネットワーク授業が実施された。…⑦ ○占冠中学校と協力大学（北海道教育大学）との遠隔授業の実施に向けた打合せを実施した。…⑦ ○占冠中央小学校と鹿児島県徳之島町母間小学校間で、ネットワーク授業が実施された。…⑦
課題(2)イ	<ul style="list-style-type: none"> ○村・リゾート・北大の三者連携協定による「川の学校」や「雪の学校」を教育課程に位置付けるなど、各関係機関を活用した「ふるさと学習」が充実した。特に「メープルシロップ」「化石」等地域題材を活用した学習に加え、「占冠神楽」という伝統文化の伝承に関わる授業が実施できた。…⑧ ○村内リゾートにおける外国籍従業員による国際理解教育を実施した。また、昨年度の北海道大学大学院の留学生の「国際感覚を高めるプログラム」の調査研究の成果をもとに、今年度、授業を実施することができた。…⑨
課題(2)エ	<ul style="list-style-type: none"> ○アスペンからの留学生を受け入れ、全児童が英語で自己紹介したりゲームで交流したりした。また、学年を超えた班編制による地域高齢者との交流も実施し児童の社会性の育成が図られた。また、「国立日高青少年の家」主催の通学合宿に11名の児童が平均5日間参加し、他管内の小中学生との交流を図ることができた。また、この通学合宿にトナム小学校児童3名も参加することができた。…⑩ ○長期休業中の学習サポートや放課後の学習や遊びのサポートについて、協力大学の学生ボランティアや地域見守りボランティアをはじめとして村の商工企画課所属である村おこし協力隊も講師に活用した学習環境が整った。今年度は保護者の協力も得ることができた。…⑪

(2) 成果物等

- ①「占冠大好き教育」研究報告書（事業計画、事業報告、ショウ&テル記録集、占冠版小中英語教育課程等）
- ②研究報告補助資料 平成28年度版 「教育活動DVD」
- ③パンフレット～平成28年度版 中央小コミュニティ・スクール
- ④パンフレット～平成28年度版 学習環境の充実に向けてパンフレット
- ⑤平成28年度版 占冠学びの10箇条

(3) 今後の取組予定

- 全学年における英語学習とショウ&テル、英語スキルの時間の成果（日本語や英語での豊かな表現力）を学芸会や学習の成果を発表する機会等で実践する。…①
 - 編成した教育課程により、教育課程の特区を申請する。また、児童全員の英語のジュニア検定受験を目指す。…②
 - 個人カルテを有効的に活用し、児童個々の弱点を明らかにしたり中学校での指導改善を推進したりして、中1ギャップの解消を目指す。…③
 - 全ての教員のICT活用時間の増加を目指す。…④
 - ICT機器をフルに活用する環境を整え、遠距離の学校や専門家等と結ぶ授業を展開する。…⑤
 - 学校間ネットワーク活用による授業を全教科で実施する。…⑥
 - 各教科等や「ふるさと学習」、「英語学習」において協力大学とのネットワーク活用による遠隔授業を2回以上実施し、実施時間増を目指す。また、中学校において、協力大学とのネットワークを活用した専門性を高めた授業を実施する。…⑦
 - 「川の学校」「雪の学校」（※）においてネットワークを活用した事前学習や事後学習を実施する。また、「ふるさと大好きリレー講座」（※）の充実を図る。…⑧
 - 村内中学生が星野リゾート施設内で体験的キャリア教育を実施する。…⑨
 - アスペンからの留学生との交流において英語で進行し、英会話によるコミュニケーションの場面を設定する。…⑩
 - 国立日高青少年の家の通学合宿の村内小学生の参加率を10%高める。また、土曜学習参加を占冠中央小学校だけでなくトナム小学校にも呼びかけて様々な教育機会の場を村全体に広めていく。…⑪
- ※「川の学校」「雪の学校」とは、北海道大学大学院教授と大学院生の講師による村内小学生を対象にした授業
- ※「ふるさと大好きリレー講座」とは、地域おこし隊との連携による、一人の講師が年間3回程度地域学習をするというもので、高学年が年間6時間程度実施